



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 24 / 2008年4月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第24号をお届けします。
今回は、2007年度研究会活動報告と3月に千葉大で開催された iWAT2008 の報告についてお知らせいたします。

【1】2007年度研究会活動報告

通ソ研専運営会議より、2007年度における各常設研究会の活動結果が公開されました。AP研は、下の式で定義される売上貢献度と研究活動度という、通ソの2つの評価指標がいずれも19研究会中第1位でした。これもひとえに、大会や研究会で講演していただいた皆様方のおかげであると感謝している次第です。AP研ではこれ以外に、毎年開催する国際会議ISAPや、年に数回開催する第二種研究会「アンテナ・伝播における設計・解析手法ワークショップ」などの活動もあり、アクティビティはもとより、経営面でも信学会に対してダントツの貢献をしているものと思います。

売上貢献度=技報予約数×1.4+大会発表件数

研究活動度=研究会発表件数×2+大会発表件数

ただし、表の数値からおわかりのように、AP研の売上貢献度と研究活動度の高さはソ大会や総合大会の発表件数に依存しているところが大きいようです。今後は研究会の発表件数と技報予約数とを増やしていく必要があるように思います。年間購読料は発表件数が増えれば値上がりしますが、予約数が増えれば下がる仕組みになっておりますので、年間購読予約をされていない方、機関は、是非、予約していただきますよう、お願いいたします。

研究会	第一種研究会		ソ大会	総合大会	大会発表 合計	売上 貢献度	研究 活動度
	技報予約数	発表件数	発表件数	発表件数			
AN	142	82	36	36	72	270.8	236
AP	397	207	218	246	464	1019.8	878
IA	140	53	4	40	44	240.0	150
SANE	134	147	50	46	96	283.6	390
SAT	161	75	27	27	54	279.4	204
EMCJ	333	132	64	82	146	612.2	410
CQ	148	95	28	28	56	263.2	246
IN	345	247	105	178	283	766.0	777
SR	163	118	41	43	84	312.2	320
CS	305	129	35	28	63	490.0	321
TM	118	72	38	17	55	220.2	199
EE	239	77	17	20	37	371.6	191
NS	270	214	70	102	172	550.0	600
OCS	251	85	87	210	297	648.4	467
OFT	140	73	34	27	61	257.0	207
PN	153	95	23	36	59	273.2	249
RCS	398	248	158	211	369	926.2	865
MoMuC	212	104	10	30	40	336.8	248
USN	174	93	29	66	95	338.6	281

上記データは、研専運営会議のページ(<http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/>)にて公開されております。他にもいろんな情報を閲覧できますので是非ご覧下さい。

【2】iWAT2008開催報告

IEEE iWATは小形アンテナ、メタマテリアルを対象としたトピカルな国際学会であり、1セッションのみで運営するため、落ち着いて議論できるという特徴があります。2005年にシンガポール、2006年にニューヨーク、2007年にロンドンで開催され、今回が4回目でした。海外から著名な研究者が多く出席されるためなのか、関心の高いトピックスだからなのか、予想をはるかに上回る参加者（海外からの参加者が日本からの参加者数を上回りました）があり、関係者はその対応で大変でした。次回は2009年2月下旬か3月初旬にサンタモニカ（米国カリフォルニア州）で開催される予定です。

- (1) 日時：2008年3月4-6日
- (2) 場所：千葉大学
- (3) 主催：IEEE APS Japan Chapter, 千葉大学
- (4) 論文：投稿数 155件（27国／地域）
採録数 キーノート4件、インバイト29件、ポスター116件
- (5) 登録：201名（25国／地域）、うち日本人94名、その他同伴者11名

【3】AP研副委員長の戯言

岩井幹事に無理を言って、過去5年間の研究会における所属機関別発表ランキングを作成していただきました。私が幹事をしていた頃の1997-1999年のデータも追記しています。あえてコメントはいたしません。この表をじっくりと眺めてみると、いろいろなことが見えてきますね。なお、集計には細心の注意を払っておりますが誤りがあるかもしれません。その節はご容赦下さい。

今回は2つの表で紙面を埋め尽くし、戯言は手抜きになってしまいました。たまにはいいですよ。

順位	機関	1997	1998	1999	2003	2004	2005	2006	2007	5年間合計
1	NTTドコモ	5	6	4	8	14	12	8	16	58
2	三菱電機	15	18	17	19	8	11	12	4	54
3	東工大	7	4	14	13	13	10	9	8	53
4	電通大	4	0	3	13	6	8	9	9	45
5	横国大	7	4	9	7	7	7	10	12	43
6	NTT	7	10	7	8	10	7	6	11	42
7	立命館大	0	0	0	3	13	8	7	7	38
8	東北大	7	7	3	6	3	5	12	11	37
9	新潟大	10	11	5	4	9	6	6	10	35
10	ATR	3	5	8	16	9	3	1	5	34
11	NICT	2	7	4	4	5	10	6	5	30
12	福井大	0	0	0	6	5	5	6	7	29
13	防衛大	1	1	4	9	3	3	1	12	28
14	農工大	3	1	2	5	6	5	8	4	28
15	千葉大	5	5	2	4	4	8	5	4	25
16	松下電器	3	1	4	4	8	4	4	2	22
17	名工大	5	2	5	4	5	4	4	3	20
18	東芝	1	1	1	3	0	14	0	2	19
19	ソフトバンクテレコム	0	0	0	6	3	2	4	3	18
20	北大	5	2	5	3	7	2	2	3	17

委員長所属

幹事所属



<問合せ先>

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 牧野滋（金沢工業大学）

E-mail: ap_ac-chair@mail.ieice.org